

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育Ⅲ	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	中村 石渡 黒谷
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期
学科・コース	トータルビューティ科						
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
トータルビューティ科の2年間の学びが理解できる 自分自身が学ぶ目的を持てる							
【授業を通じての到達目標】							
トータルビューティ科の2年間の学びを理解し、自分自身の目標が設定できるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	オリエンテーション 学則について 学年暦について 授業の学び方について						
2							
3							
4						40点	
5	オリエンテーション② クラス内役割について 就職活動について						
6							
7							
8						60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) / D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する			



科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅳ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	各担任
学科・コース	トータルビューティ科・全コース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【目的】 自分の将来を考え、社会人、企業人として、仕組みやマナーについて理解し、対応力を身につける。 経済産業省が主催した有識者会議により、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を養う。 「社会人基礎力」チームで働く力(①発信力 ②傾聴力 ③柔軟性 ④状況把握力 ⑤規律性 ⑥ストレスコントロール力)							
【教員】 社会経験13年以上ある教員が、社会に必要な知識「社会人基礎力」を中心に社会に必要な知識を教える。							
【授業を通じての到達目標】							
・社会人として仕事をスムーズに進められる方法、社会人として対応できる知識を理解する。 ・社会人としての知識を身につけ、説明できるようになる。 ・美容業界のプロとして社会人になる為の知識を深める。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
筆記用具、授業用ファイル(配布した使用はファイリングのうえ持参)							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【到達目標】目標を見直す(人生100年時代・自分の人生を計画する) 現時点の進捗を確認し、修正の目標や到達点を考え行動変容に活かす。						
2	【到達目標】社会人基礎力6の重要性を伝えることができる グループに分かれて①主体性②働きかけ力③実行力考えぬく力④課題発見力⑤計画力⑥創造力を相手に伝えることが出来る。					4点	
3	【到達目標】発信力を理解し自分から発信できる 自分の意見を分かりやすく表現し相手に伝えられる。						
4	【到達目標】伝達力を高めて報告・連絡・相談ができる力を身に付ける 社会人として相手に何かを伝えるときの方法を理解し、グループワークで実践できるようになる。						
5	【到達目標】プレゼンテーション力を身に付ける(発信力+伝達力の相乗効果) 進んで情報を発信し意見を分かりやすく、相手に行動変容させるように伝えられるようになる。					4点	
6	【到達目標】傾聴力をつけて相手の話を理解し需要できる 伝言ゲームワークシートを活用し聴き上手になり、相手の話しやすい雰囲気を作る。						
7	【到達目標】中間試験 1～7週まとめを理解し説明できる。					中間テスト20点	
8	【到達目標】企画力を発揮しイベントを提案できる クラスで行うイベントを自ら考え実行するための運営と役割を考える。「year-end party」						
9	【到達目標】柔軟性 相手の意見に耳を傾けて丁寧に聴く力を身に付ける。					4点	
10	【到達目標】企画力を発揮する 「year-end party」を実施し考えたことを発揮する。						
11	【到達目標】状況把握力を身に付ける 情報を理解し整理することができ、相手に適切な情報を伝えることができる。					4点	
12	【到達目標】多様な状況を整理し把握する力を身に付ける 情報を理解し整理することができ、相手に適切な情報を伝えることができる。						
13	【到達目標】規律性を学び社会人として心構えを持つ。 社会人としての必要な心構えを考え、グループで意見交換ができる。					4点	
14	【到達目標】ストレスコントロール力を養う アンガーマネジメントを理解し自分を知る 感情のコントロールを知り、自分のタイプを理解しストレスの発生源に対応する力を養う。						
15	【到達目標】定期試験 定期試験の返却と解説					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	1・2年生交流会	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	石渡・中村・黒谷
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期
学科・コース	トータルビューティ科						
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
【目的】 両学年の交流をすることで卒後のつながりを強化する。また2年生は1年生へ自分たちの得た知識・技術を披露することで自分たちが学んだコースの強みを理解する。1年生は2年生から施術を受けることで各コースで学べる内容を理解し、後期のコース選択のヒントを得ることができる 【教員】社会経験13年以上ある教員が、社会に必要な知識「社会人基礎力」を中心に社会に必要な知識を教える。							
【授業を通じての到達目標】							
2年生は技能・知識を披露して1年生はコース選択の参考にすることができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
筆記用具 スマートフォン				帰宅での調べ課題			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	1・2年生交流会に向けて自分たちのコースが学んできた技術・知識を整理する①						
2	1・2年生交流会に向けて自分たちのコースが学んできた技術・知識を整理する②						
3	1～2回の授業で整理した内容の中から交流会に適した題材を決める						
4	3回目の授業で決めた題材に対して、自分たちオリジナルの施術メニュー・内容を構築する①						
5	4回目の授業で決めた題材に対して、自分たちオリジナルの施術メニュー・内容を構築する②						
6	構築した施術メニュー・内容を1年生に披露する①						
7	構築した施術メニュー・内容を2年生に披露する②						
8	6～7回の授業で施術をした1年生に事後アンケートを行い自分たちの施術メニュー・内容の満足度を調査する						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点			
				●評価			
				A 評価（90～100点）/ B 評価（80～89点）/ C 評価（70～79点） D 評価（60～69点）			
				E 評価（出席不良・評価資格喪失）/ F 評価（0～59点・不合格）			

科目名 (英)	コンテスト	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	中村 石渡 黒谷
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期
学科・コース	トータルビューティ科						
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次の学びを活かし、創造的な作品を発表する							
【授業を通じての到達目標】							
顧客に対して各コースで学んだ施術を施しコンセプトどおりの作品を表現する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	コンセプト作成及び仕込み 【到達目標】・テーマを基に、イメージを膨らませコンセプトシートに落とし込む・コンセプトシートを基に、反復練習を行い仕上げることができる						
2							
3							
4							
5	【授業単元】コンテスト発表 【到達目標】・コンセプトシートを基に施術を時間内で仕上げることができる 【評価】審査員及び指導教員の評価により、100点満点にて評価をする						
6							
7							
8						100点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する			

科目名 (英)	選択授業	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中澤
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60(4)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	トータルビューティー科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
希望職種の中から選択し、技術の幅を広げることができるようになる 今回は着付け初伝について実施をする 講師は山野流着装教室にて講師を10年以上経験している							
【授業を通じての到達目標】							
美容職に必要な技術を選択し、技術の幅を広げられるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
適宜指示				自宅学習もあり			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	オリエンテーション 希望選択について						
2	小紋の着付けと帯結び					5点	
3	体型補正から振袖長襦袢の着付け						
4	着物の本たたみ					5点	
5	名古屋帯のたたみ方						
6	帯揚げの結び方						
7	帯締め結び方						
8	中間試験					20点	
9	ミスの第一礼装:振袖の知識を覚える						
10	・体型補正から振袖長襦袢の着付け					5点	
11	振り返り①						
12	振り返り②						
13	準備の仕方から小紋の着付けまで						
14	総仕上げ					5点	
15	定期試験					60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	コスメティック研究演習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	阿保幸菜(向後幸菜)
学科・コース	TB科 メイクコース	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2単位)	開講区分 曜日・時間	前期 (金) 2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
約6年の美容部員経験(国内大手化粧品メーカー・百貨店勤務)を経て、美容メディアの企画・編集・執筆といった美容に関する専門知識を生かした情報発信に従事し、美容業界に17年携わった講師が担当。日本化粧品検定1級保持。メイクアイテム・ヘアケアアイテム・フレグランスに関しての種類や基本知識、具体的な使用方法についての知識をお伝えします。							
目的:お客様に対し適切な商品選択ができるために働きや効果について理解する。							
【授業を通じての到達目標】							
化粧品ブランドで取り扱う幅広い化粧品アイテムについての知識を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料				日々、SNSやYouTubeのインフルエンサーによる発信だけでなく、実店舗、雑誌、インターネットなどで化粧品に触れたり、調べたりすることでさまざまなブランドや商品を知るように心がける。			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	授業内容を理解する。メイクアップベースの種類・特徴・使用方法を理解する。					0	
2	ファンデーションの種類・特徴・使用方法について理解する。					0	
3	コンシーラー・フェイスパウダーの種類・特徴・使用方法について理解する。					0	
4	アイブロウアイテム アイシャドウの種類・特徴・使用方法について理解する					0	
5	アイライナー マスカラの種類・特徴・使用方法について理解する。					0	
6	コントゥアリングアイテム チーク リップアイテムの種類・特徴・使用方法について理解する。					0	
7	UVケア化粧品の種類・特徴・使用方法について理解する。					5	
8	中間試験					20	
9	2023年上半期ベストコスメを決める。 コスメの審美眼を身に着け、トレンドをつかめるようになる。					0	
10	香水の香りの変化、香水のつけ方と注意点・香りの持続時間を理解する。 主分類・副分類について理解する。					0	
11	シャンプーの界面活性剤の種類と特徴・成分を理解する。 リンス・コンディショナー・トリートメントの成分を理解する。					5	
12	<校外授業> 化粧品カウンターで、最新のコスメ市場をチェックしレポートングできるようになる。					5	
13	男性の肌の特徴を理解する。男性化粧品(髭剃り関連)の種類と特徴を理解する。					0	
14	薬とサプリメントの違いを理解する 肌トラブルと有効な栄養成分について理解する。					5	
15	定期試験					60	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	ブランド別メイク理論&演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	深井/福島
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60時間 4単位	開講区分	曜日・時間
学科・コース	TB科						(水)3・4限
25年以上メイクアップの仕事に関わってきました。複数の美容専門学校で15年以上教育にも携わっております。JESC検定の問題作成、テキスト「Basic Makeup」の監修、ヘアメイクにも携わる。(深井) 美容業界で20年以上関わってきました。CMや舞台、雑誌のヘアメイクなど、お客様のキレイの基準向上に取り組んでいる。(福島) 目的:様々な化粧品ブランドの歴史やアイテムなどについて学びそのブランドの特徴を深く知る。 概要:ブランドについての歴史、商品についての知識を解説し、ブランドの特徴を把握したうえでデザイン画作成、メイク実習を行う。							
【授業を通じての到達目標】							
様々なブランドの化粧品や歴史、コンセプト、商品について理解できるようになる。 イメージやシーズンに合わせたメイクアップを仕上げることができ、現場で必要なメイクアップ技術、お客様一人一人に合った提案力を身に付けることが出来る。また、コスメに合わせたデザインを提案できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイクアップ道具一式、筆記用具、配布プリントファイル等							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	授業の流れ説明 トrendメイクの続き相モデル実習(ポイントメイク) 技術チェック					1	
2	外資系ファッションブランド CHANELの歴史を知りブランドイメージを理解する					1	
3	外資系ファッションブランド Diorの歴史を知りブランドイメージを理解する					1	
4	外資系ファッションブランド YSLの歴史を知りブランドイメージを理解する					1	
5	外資系アーチストブランド BOBBI BROWNの歴史を知りブランドイメージを理解する					1	
6	外資系アーチストブランド MACの歴史を知りブランドイメージを理解する					1	
7	中間試験 ブランドのメイク(フェイスチャートあり)					実技20点	
8	国産系アーチストブランド SHU UEMURAの歴史を知りブランドイメージを理解する					2	
9	国産系コスメブランド SHISEIDOの歴史を知りブランドイメージを理解する					2	
10	国産系コスメブランド KOSEの歴史を知りブランドイメージを理解する					2	
11	国産系コスメブランド ALBIONの歴史を知りブランドイメージを理解する					2	
12	外資系コスメブランド ESTEE LAUDER の歴史を知りブランドイメージを理解する					2	
13	国産系コスメブランド SUQUQUの歴史を知りブランドイメージを理解する					2	
14	国産系ブランド LUNASOL の歴史を知りブランドイメージを理解する					2	
15	定期試験 ブランドのメイク&フェイスチャートあり					実技60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	トレンドメイク演習	必修選択	必修	年次	2	担当教員	福島裕司 深井ルミ
		授業形態	実習	総時間(単位)	60時間4単位	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 1.2 限
科・コース	トータルビューティ科 メイクコース						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
25年以上メイクアップの仕事に関わってきました。複数の美容専門学校で15年以上教育にも携わっております。JESC検定の問題作成、テキスト「Basic Makeup」の監修、ヘアメイクにも携わる。(深井)美容業界で20年以上関わってきました。CMや舞台、雑誌のヘアメイクなど、お客様のキレイの基準向上に取り組んでいる。(福島)美容のスペシャリストを育成する為、美容知識、技術、経験の基礎と応用を習得する授業を行う。美容業界は流行の流れが速い為、常に最新の情報や製品などを知ることがとても重要です。							
【授業を通じての到達目標】							
業界のトレンドを学ぶ。今までのトレンドや最新のトレンドの知識やテクニックも身に付けていく。 トレンドのコスメ商品の体験をしたり、トレンドメイクアップの違いを理解出来る。 授業後半には コンテストに対しての集中講座を行います。 お客様に対してのカウンセリングの中でトレンドを入れた提案やメイクアップを知ることが出来る							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイクアップ道具一式、筆記用具、配布プリントファイル等 フェイスシールド				美容業界は流行の流れが速い為、常に雑誌やネットで情報を調べて予習しておく事。 演習後は技術の復習をし、より確実に身に付ける事が望ましい。			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	トレンドを知る メイクバランスを理解する フェイスチャートの描き方 ベース技術チェック					1点	
2	トレンド スキンケアを知りメイクアップテクニックを学ぶ① リップメイン					1点	
3	トレンド スキンケアを知りメイクアップテクニックを学ぶ② アイエリアメイン					1点	
4	トレンド スキンケアを知りメイクアップテクニックを学ぶ③ チークメイン					1点	
5	トレンドを理解してメイクデザインを考える①					1点	
6	トレンドを理解してメイクデザインを考える②					1点	
7	中間テスト トレンドメイク＆フェイスチャートあり					20点	
8	ファッションのトレンドを知りメイクアップを学ぶ①					1点	
9	コンテスト概要説明、基礎テクニックの復習					1点	
10	コンテストに向けて① トrendを知り、メイクアップテクニックを学ぶ					1点	
11	コンテストに向けて② フェイスチャートを作成してメイクアップを相モデルで実習する					1点	
12	デパートコスメ 秋の商品 リサーチ グループ発表					8点	
13	コンテストに向けて③ フェイスチャートを作成してメイクアップを相モデルで実習する					1点	
14	コンテストに向けて④ フェイスチャートを作成してメイクアップを相モデルで実習する					1点	
15	期末テスト コンテスト用の メイクアップを相モデルで実習しプレゼンまで行う					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	販売ロールプレイ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	阿保幸菜(向後幸菜)
		授業 形態	実技	総時間 (単位)	30時間 (2単位)	開講区分 曜日・時間	前期 (金) 1限
学科・コース	TB科 メイクコース						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 美容部員として約6年、国内高級化粧品ブランド・都内大手百貨店で得た接客販売スキルと、美容ライターとして培ってきた講師が、業界の幅広い知見、言語表現力を生かし、現場で即戦力となる接客技術をお伝えいたします。 目的:「ただ商品を売る」「マニュアル通りに紹介する」ではない、基礎知識の引き出しをきちんと持ち合わせた上でオリジナリティのある接客を行えるような発想力と立ち居振る舞いを身に着ける。							
【授業を通じての到達目標】 お客さまの肌をカウンセリングし、気がかり、肌状態、嗜好などから、「なりたい肌」を叶えるための接客ロールプレイングができるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
講師作成資料							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	皮膚構造に関する基礎知識でカウンセリングができる。					0	
2	代表的なスキンケアブランドの特徴、おすすめポイントを言える。					0	
3	各シーズンごとのお手入れポイントの説明ができる。					0	
4	<肌悩み別ロールプレ> 乾燥が気になる方へのカウンセリング〜クロージングができる。					0	
5	<肌悩み別ロールプレ> 毛穴が気になる方へのカウンセリング〜クロージングができる。					0	
6	<肌悩み別ロールプレ> シミ・くすみ・クマが気になる方へのカウンセリング〜クロージングができる。					5	
7	<中間テスト 筆記 20点> 肌悩み・嗜好・季節などからセルフカウンセリングを行う。					20点	
8	<肌悩み別ロールプレ> エイジングサインが気になる方へのカウンセリング〜クロージングができる。					0	
9	代表的なスキンケアアイテムをキャッチフレーズと短文で魅力的に伝える。					5	
10	コットンやスパチュラを使い、美しい所作で心地よいスキンタッチができる。					0	
11	セールストークのポイントを理解する。 お互いに褒める練習を行い、相手のいい所を見つけて伝えられるようになる。					0	
12	<校外実習> 化粧品カウンターでカウンセリングを受け、良い点・改善点に気づけるようになる。					5	
13	よく使われるスキンケア成分を理解する。					0	
14	テストに向けた、カウンセリングの台本作成					5	
15	<定期試験 筆記 60点> スキンケアカウンセリングを5分で行う。					60点	
【特記事項】 接客の基礎を身に着ける授業となります。身だしなみにも気を付けて授業に参加してください。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	販売促進メイク演習Ⅰ		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	久保
学科・コース	トータルビューティ科メイク専横		授業 形態	実技	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	月曜日
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる講師が担当。 メイクアップに理由付けが出来るようになる。								
【授業を通じての到達目標】 限られた時間で、完成度の高いメイクを完成させる事が出来る様になる。自身の施したメイクのプレゼンテーションが出来る様になる。								
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具								
回	授 業 概 要						テスト配点	
1	フルメイク、時間内仕上げ						5	
2	フルメイク、時間内仕上げ							
3	フルメイク、プレゼンテーション(個人)							
4	フルメイク、プレゼンテーション、フェイスチャート						5	
5	フルメイク、プレゼンテーション(グループ)							
6	コンセプトシート作成、メイク試作							
7	中間テスト フルメイク 時間内仕上げ						20	
8	フルメイク、プレゼンテーション、フェイスチャート							
9	フルメイク、プレゼンテーション						5	
10	フルメイク、時間内仕上げ							
11	与えられたテーマに沿って似合わせメイク(指定の化粧品をフォーカス)							
12	与えられたテーマに沿って似合わせメイク(指定の化粧品をフォーカス)						5	
13	与えられたテーマに沿って似合わせメイク(指定の化粧品をフォーカス)							
14	コンセプトシート作成、メイク試作							
15	定期試験(フルメイク、タイム取り)						60	
【特記事項】					【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	年代別メイク&テクニック演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	関 亜沙美 深井ルミ
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60時間 (4単位)	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科					曜日・時間	木曜日
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
関亜沙美：美容室で美容師として2年勤務後、メイクアップアーティストやビューティードバイザー、またサロンメイクなどのメイク講師として30年間以上教育に携わる。また企業や一般の方向けのパーソナルメイクのインストラクターも行う。ヘッドスパサロンでセラピストとしても18年勤務。 深井ルミ：25年以上メイクアップの仕事に携わり、複数の美容専門学校で授業を担当。JESC検定の問題作成、テキストの監修、ヘアメイクを担当。 目的：メイクアップに関わる者として必要である化粧品やメイクアップの起源、歴史を調べ、学び、必要なメイクアップの知識とテクニックを身につける。							
【授業を通じての到達目標】							
化粧の起源や各年代の時代背景、メイクアップの流行を把握し、現場に出る前の基礎知識を身につける。1920年代、1950年代、1960年代、1970年代、各年代のメイクアップパターンを理解し、時代の雰囲気の表現、左右対称の仕上がりを目指し、テクニックを向上させる。また『歴史は繰り返す』を念頭に、近現代に於ける年代別の時代背景(社会の情勢)と様々な出来事、その時代に流行ったメイクアップ、風俗、ファッションやヘアスタイル、カルチャー、音楽、映画やその時代を代表する人物などを知り、過去の偉大な芸術に興味を持ってもらい各時代の雰囲気をつ捉えた上で、知識とメイクアップテクニックを向上させる。将来、皆さんがメイクアップを生業としていく上で必要な理論、知識、技術、礼節などをお伝え致します。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
iPad メイク道具一式 筆記用具 年代別メイク専用ファイル&ノート				各年代に於ける時代背景や出来事、流行のメイクアップ、ファッション、ヘアスタイル、音楽、映画、人物などについてレポート提出			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	①化粧の起源から古代、中世、近代の流行のメイクアップ等レクチャー②映画鑑賞&感想レポート					①レポート提出②感想レポート提出 4点	
2	1920年代の時代背景と流行の メイクアップ 等を理解 把握する					レポート提出 2点	
3	デモストを見聞し1920年代の流行のメイクアップテクニックを習得する。					フェイスチャート作成 1点	
4	実技を通して1920年代の流行のメイクアップテクニックを身につける。					相モデルにてフルメイク 1点	
5	1950年代の時代背景と流行のメイクアップ等を理解、把握する。					レポート提出 2点	
6	デモストを見聞し1950年代の流行のメイクアップテクニックを習得する。					フェイスチャート作成 1点	
7	実技を通して1950年代の流行のメイクアップテクニックを身につける。					相モデルにてフルメイク 1点	
8	中間試験					相モデルにてフルメイク 20点	
9	1960年代の時代背景と流行のメイクアップ等を理解、把握する。					レポート提出 2点	
10	デモストを見聞し1960年代の流行のメイクアップテクニックを習得する。					フェイスチャート作成 1点	
11	実技を通して1960年代の流行のメイクアップテクニックを身につける。					相モデルにてフルメイク 1点	
12	1970年代の時代背景と流行のメイクアップ等を理解、把握する。					レポート提出 2点	
13	デモストを見聞し1970年代の流行のメイクアップテクニックを習得する。					フェイスチャート作成 1点	
14	実技を通して1970年代の流行のメイクアップテクニックを身につける。					相モデルにてフルメイク 1点	
15	定期試験					相モデルにてフルメイク 60点	
【特記事項】 授業の構成上、通常は中間試験を7回目に行いますが、年代別メイクの授業では8回目に行います。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	表参道プログラム	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	中村 石渡 黒谷
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期
学科・コース	トータルビューティ科						
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイク・ネイル・エステ・ファッションそれぞれの業界の方に授業を受け、専攻就職に向けての思いを高める							
【授業を通じての到達目標】							
4業種の仕事のやりがいなどが理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	オリエンテーション 企業調べ・企業理解 グループワークによる企業シェア						
2							
3							
4						40点	
5	企業授業実施 (メイク・ネイル・エステ・ファッション) 振り返り・グループシェア						
6							
7							
8						60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A 評価 (90～100点) / B 評価 (80～89点) / C 評価 (70～79点) / D 評価 (60～69点) E 評価 (出席不良・評価資格喪失) / F 評価 (0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する			

科目名	ネイル検定演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	滝本陽子 戸川智尋
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	120 (8)	開講区分 曜日・時間	水曜日 1.2.3.4限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） この科目では ミックスメディアアートでデザイン力を身に付ける 様々なジェルアートの技法を修得し、サロンワークに必要な技術も身に付ける ジェルネイル技能検定試験中級ではサロンワークに必要な専門的技術及び知識を修得し、作業を時間内に収める技術を身に付ける 滝本 ネイルサロンでは店長として人事や教育に携わってきました。現在は個人サロンを経営する傍ら複数の専門学校やネイルサロンでの技術指導を行っています。 その経験を活かし、より実践的な技術、知識をお伝えします。 またコンテスト作品制作ではコンテスト入賞経験を活かし、繊細なアートを指導していきます。 ネイルサロンでは店長として人事や教育に携わってきました。現在は個人サロンを経営する傍ら複数の専門学校やネイルサロンでの技術指導を行っています。 その経験を活かし、ネイルの基本となる技術、知識をお伝えし、検定合格に導きます。							
戸川 ネイル教育に20年以上携わってきました。 現在はネイル専門学校でも講師をしております。 講師経験を活かし個々の癖を見抜きわかりやすくお伝えします。 日本ネイリスト協会常任本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験を活かし、合格へ繋がる検定試験の専門知識と専門技術をお伝えします。 各種ジェルメーカーのエデュケーターを務め、現場ではネイルサロン、ネイル雑誌撮影、スタジオスチール撮影等様々な仕事に携わってきました。 様々な経験を活かし、将来皆さんがネイリストとして働く際に役に立つサロンワークで実践できる技術、知識をコンテスト作品、卒業制作を通じてお伝えします。 【授業を通じての到達目標】 アートを繊細に仕上げることができ、サロンワークで高い技術を提供できるようになる サロンワークに必要なスピーディーな施術を修得する ジェル検定中級 ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができることにより時間内に収めることができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができ、時間内に収めることができる フォルムが正しく均一に形成され、表面が滑らかにつながっている グラデーションは既定のバランスで仕上げる カラーフレンチはラインが鮮明でムラなくトップエンドが尖り、バランス良く仕上げることができる ネイリスト技能検定試験1級 アクリルネイルのイクステンション（スカルプチュアネイル、チップ＆オーバーレイ）のアプリケーション～シャイニングまで仕上げることができ、 フォルムが正しく均一に形成され、表面が滑らかにつながっている ジェルのイクステンションの手順を修得し施術ができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができ、時間内に収めることができる フォルムが正しく均一に形成され、表面が滑らかにつながっている							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムジェルネイル JNAテクニカルシステムアドバンス							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	1級検定対策					小テスト20点	
2	休校→3/27分振替						
3	休校→3/30分振替						
4	休校→5/10分振替						
5	休校→4/13分振替						
6	休校→4/14分振替						
7	ミックスメディア①						
8	中間テスト：ジェル検定中級⑨					中間テスト20点	
9	ミックスメディア＆検定						
10	ミックスメディア＆検定						
11	ミックスメディア＆検定						
12	ミックスメディアorサロン練習＆検定						
13	ミックスメディアorサロン練習＆検定						
14	ミックスメディアorサロン練習＆検定						
15	期末テスト：ジェルアート タイダイ マーブル 大理石 ベっ甲 ラメグラ ハーフフレンチ 斜めフレンチ バルーンフレンチ					定期試験 60点	
【特記事項】 4月15日(土)ネイリスト技能検定試験1級試験日【Dパターン】 4月16日(日)ネイリスト技能検定試験2級試験日 7月15日(土)ネイリスト技能検定試験2級試験日 6月10or11日(土/日)ジェルネイル検定初級・中級試験日 10月14日(土)ネイリスト技能検定試験1級試験日【Bパターン】 仮10月21日(土)ジェルネイル検定中級・上級試験日				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点） D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	メイク総合演習	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	関 亜沙美
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60(4)	開講区分 曜日・時間	後期
学科・コース	トータルビューティー科						
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） メイクアップに携わる者として必要な化粧品・メイクアップの起源や歴史を調べ学び、近現代に於ける時代背景と流行ったメイクアップ、また様々な出来事や風俗、ファッション、ヘアスタイル、音楽、映画やその時代を代表する人物を知り、各時代の雰囲気を捉えた上で知識とメイクアップテクニックを身につける。 経歴:化粧品会社のインストラクター、美容部員の教育、プロヘアメイックスールの講師を務める							
【授業を通じての到達目標】							
化粧の起源や各時代の時代背景、メイクアップの流行を把握し現場に出る前の基礎知識を身につける。また1年生で学び修得してきた基本的なパーツメイクの組み合わせを 駆使し、応用させて1920年、1950年、1960年、1970年、各年代の流行のメイクアップパターンを理解し左右対称に仕上げ、テクニックを向上させる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式 筆記用具 年代別メイク専用ファイル				各年代に於ける時代背景や出来事、流行のメイクアップ、ファッション、ヘアスタイル、音楽、映画、人物など興味のある分野のレポート作成			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	化粧の起源から古代、中世、近代の流行のメイクアップ						
2	1920年代～1930年代の時代背景と流行のメイクアップ等を理解					小テスト4点	
3	1920年代～1930年代の流行のメイクアップテクニック						
4	1920年代～1930年代のメイクアップテクニックを身につける					小テスト4点	
5	1950年代の時代背景と流行のメイクアップなどを理解する						
6	1950年代の流行のメイクアップテクニックを理解する						
7	1950年代の流行のメイクアップテクニックを身につける					中間テスト20点	
8	1960年代の時代背景と流行のメイクアップなどを理解する						
9	1960年代の流行のメイクアップテクニックを理解する					小テスト4点	
10	1960年代の流行のメイクアップテクニックを身につける						
11	1970年代の時代背景と流行のメイクアップなどを理解する					小テスト4点	
12	1970年代の流行のメイクアップテクニックを理解する						
13	1970年代の流行のメイクアップテクニックを身につける					小テスト4点	
14	1950年代の流行のメイクアップの2パターンのテクニックをしっかりと身につける						
15	1970年代の流行のメイクアップパターンのフェイスチャートを作成し、50分間で相モデルにてフルメイクを仕上げる					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	ネイル技術演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	滝本陽子 橋本勇人
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60(4)	開講区分 曜日・時間	火曜日 1.2 限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) この学科では ジェルネイル技能検定試験中級ではサロンワークに必要な専門的技術及び知識を修得し、作業を時間内に収める技術を身に付ける ジェルネイル技能検定試験上級ではサロンワークに必要なジェルネイルのスペシャリストとして必要とされる総合的技術及び知識を習得し身に付ける サロンワークで実践できる技術、知識、サロンルーティン、ホスピタリティを身に付ける 滝本： ネイルサロンでは店長として人事や教育に携わってきました。現在は個人サロンを経営する傍ら複数の専門学校やネイルサロンでの技術指導を行っています。 その経験を活かし、ネイルの基本となる技術、知識をお伝えし、検定合格に導きます。 橋本： ネイリストとして24年間、店長、スタッフ育成、人事などにたずさわり、スクール講師としても20年以上勤めてきました。 この経験を生かし これから皆さんが学ぶネイルの基礎知識から専門知識を伝えジェル検定合格までをサポートしていきます ※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNAフットケア理論検定試験指導員が実施							
【授業を通じての到達目標】 サロンワークに必要なスピーディーな施術を修得する ジェルネイル技能検定試験中級ではサロンワークに必要な専門的技術及び知識を修得し、作業を時間内に収める技術を身に付ける ジェルネイル技能検定試験上級ではサロンワークに必要なジェルネイルのスペシャリストとして必要とされる総合的技術及び知識を習得し身に付ける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムジェルネイル JNAテクニカルシステムアドバンス							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	休校→3/23分振替						
2	ジェル検定中級① イクステンション ジェルネイル技能検定試験中級 検定対策 要項説明・過去問題配布 ジェルイクステンション練習 目標:ジェルネイル技能検定試験中級の内容を把握する ジェルネイル技能検定試験中級の第二課題である ジェルイクステンションのアプリケーション手順、ブラシワーク、仕上がりの形を覚え						
3	1.2限 3D (リボン ペアー) 目標:アクリルの3Dのブラシワーク、作成方法、バランスを覚える 3.4限 ジェル検定中級① ジェルイクステンション ジェルネイル技能検定試験中級 目標:ルネイル技能検定試験中級の第二課題である ジェルイクステンションのアプリケーション手順、ブラシワーク、仕上がりの形を覚え						

4	ジェル中級③ ジェルネイル技能検定試験中級 練習 トレーニングハンド ◆右手中指ジェルイクステンション ◆右手4本ジェルグラデーション ◆左手ジェルフレンチフレンチカラーリング 目標:ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている 手順を覚え、施術に何分掛かるか把握する	
5	ジェル中級④ ジェルネイル技能検定試験中級 練習 トレーニングハンド ◆右手中指ジェルイクステンション ◆右手4本ジェルグラデーション ◆左手ジェルフレンチフレンチカラーリング 目標:ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている 手順を覚え、施術に何分掛かるか把握する	
6	ジェル中級⑤ ジェルネイル技能検定試験中級 練習 トレーニングハンド ◆右手中指ジェルイクステンション ◆右手4本ジェルグラデーション ◆左手ジェルフレンチフレンチカラーリング 目標:ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている 手順を覚え、施術に何分掛かるか把握する	
7	ジェル中級⑥ ジェルネイル技能検定試験中級 練習 トレーニングハンド ◆右手中指ジェルイクステンション ◆右手4本ジェルグラデーション ◆左手ジェルフレンチフレンチカラーリング 目標:ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている 手順を覚え、施術に何分掛かるか把握する	
8	ジェル中級⑧ ◆右手中指ジェルイクステンション ◆右手4本ジェルグラデーション ◆左手ジェルフレンチフレンチカラーリング 目標:ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている 手順を覚え、施術に何分掛かるか把握する	中間テスト20点
9	フット①角質(接客用語) 角質除去&トリートメント 用具の消毒 【到達目標】 手順を覚え実践できている ペディキュアファイルの使用方法を理解し実践できている トリートメントの手技を覚える 消毒方法を理解し、実践できている	
10	フット②ポリッシュ赤(接客用語) ケア カラー(赤) ◆ケア(20分) ◆ワンカラー20分 【到達目標】 接客用語を使用して施術ができる 時間内に収めることができる	

11	ジェル検定上級 練習 トレーニングハンド ◆ジェルクリアスカルプチュア 右手人差指・中指 目標:ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる	
12	ジェル検定上級 練習 トレーニングハンド ◆ジェルチップオーバーレイ&グラデーションフラワー 右手薬指 目標:ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる	
13	ジェル検定上級 練習 トレーニングハンド ◆ジェルチップオーバーレイ 左手中指 ◆ジェルチップオーバーレイ&フレンチルック 左手薬指 目標:ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる	小テスト20点
14	ジェル検定上級 練習 トレーニングハンド ◆ジェルチップオーバーレイ 左手中指 ◆ジェルチップオーバーレイ&フレンチルック 左手薬指 ◆ジェルチップオーバーレイ&グラデーションフラワー 右手薬指 ◆ジェルクリアスカルプチュア 右手人差指・中指 目標:ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける ブラシワークを模倣し、グラデーションフラワーを奥行きがあり繊細に描ける	
15	ジェル検定上級 定期試験 トレーニングハンド ◆ジェルチップオーバーレイ 左手中指 ◆ジェルチップオーバーレイ&フレンチルック 左手薬指 ◆ジェルチップオーバーレイ&グラデーションフラワー 右手薬指 ◆ジェルクリアスカルプチュア 右手人差指・中指 目標:ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける ブラシワークを模倣し、グラデーションフラワーを奥行きがあり繊細に描ける	定期試験 60点
【特記事項】 4月15日(土)ネイリスト技能検定試験1級試験日【Dパターン】 4月16日(日)ネイリスト技能検定試験2級試験日 7月15日(土)ネイリスト技能検定試験2級試験日 6月10or11日(土)(日)ジェルネイル検定初級・中級試験日 10月14日(土)ネイリスト技能検定試験1級試験日【Bパターン】 仮10月21日(土)ジェルネイル検定中級・上級試験日		【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名 (英)	ジェルネイル演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小峰奈々 戸川智尋
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	90(6)	開講区分	
						曜日・時間	月金曜日 1.2.3限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
この科目では エアブラシの使用方法を修得する サロンワークに必要なエアブラシの使用方法を修得する サロンワークに必要な基本的なアートを修得する サロンワークで実践できる技術、知識、サロンルーティン、ホスピタリティを身に付ける ミックスメディアアートを通じて様々なアートの技法を修得し、サロンワークに必要な技術も身に付ける 小峰奈々： ネイルスクール卒業後ネイルサロンで実務経験を積み店長業務を経てネイルの講師としてネイル業界に携わっています。ネイリスト歴20年。 サロンワークで経験した事をネイリスト、店長目線でみなさんのサロンワークに役立つよう接客、技術面を中心にお伝えします。 また趣味で数々のアクリルを中心としたコンテストに出場し入賞をしてきた技術と理論を交えお伝えします。 14年の講師経験を生かし初心者でもわかりやすいように研究を重ねて参りました。 ネイリストとしての基本的な姿勢、所作にまでこだわって授業でお伝えしています。 検定試験合格へのポイントも細かくお伝えしています。 戸川智尋： ネイル教育に20年以上携わってきました。 現在はネイル専門学校でも講師をしております。 講師経験を活かし個々の癖を見抜きわかりやすくお伝えします。 日本ネイリスト協会常任本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験を活かし、合格へ繋がる検定試験の専門知識と専門技術をお伝えします。 各種ジェルメーカーのエデュケーターを務め、現場ではネイルサロン、ネイル雑誌撮影、スタジオスチール撮影等様々な仕事に携わってきました。 様々な経験を活かし、将来皆さんがネイリストとして働く際に役に立つサロンワークで実践できる技術、知識をコンテスト作品、卒業制作を通じてお伝えします。 ※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、JNECネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNAフットケア理論検定試験指導員が実施							
【授業を通じての到達目標】							
エアブラシの基本的操作ができる 用語、ジェルの説明を習得しサロンワークで活用できる ブラシワークを模倣によって修得しアートを繊細に再現性を高く仕上げるができる 様々なデザインの模倣から独自のデザインを生み出すことができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
JNAテクニカルシステムジェルネイル JNAテクニカルシステムアドバンス							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	3/22分振替						
2	4/3分振替						
3	エアブラシ 1/2 使用方法 ワンカラー 洗浄方法 目標:エアブラシの仕組みを理解し、組み立てる順番を覚える。 洗浄方法を覚える ムラなく塗布できる						
4	エアブラシ 2/2 グラデーション、マスキング 分解洗浄 (チップ) 目標:レバーの調節ができる 分解洗浄方法を覚え実践できる						
5	ジェルトールペイント グラデーションフラワー、ジェル検定上級フラワー (プラクティスハンド用チップ) 目標:トールペイントのグラデーション技法を覚える コンマストロークでフラワーがバランよく描ける						
6	ジェルアート ①ラメグラ ②ハーフフレンチ ③斜めフレンチ ④バルーンフレンチ ⑤マーブル2種 ⑥タテグラデーション ⑦タイダイ ⑧大理石 ⑨べっ甲 目標:目標:サロンワークに必要な基本のネイルアートのブラシワーク、バランスを覚えて、丁寧に繊細に施術ができるジェルブラシのストロークを模倣によって修得し、操作することができる						

7	ジェルアート ①ラメグラ ②ハーフフレンチ ③斜めフレンチ ④パルーンフレンチ ⑤マーブル2種 ⑥タテグラデーション ⑦タイダイ ⑧大理石 ⑨べっ甲 目標:目標:サロンワークに必要な基本のネイルアートのブラシワーク、バランスを覚えて、丁寧に繊細に施術ができるジェルブラシのストロークを模倣によって修得し、操作することができる	小テスト 20点
8	中間テスト:ジェル検定中級⑦ ジェルネイル技能検定試験中級 トレーニングハンド ◆右手中指ジェルイクステンション ◆右手4本ジェルグラデーション ◆左手ジェルフレンチフレンチカラーリング 目標:ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはムラなくラインが鮮明でトップエンドが尖り左右対称である イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている 手順を覚え、施術に何分掛かるか把握する	中間テスト 20点
9	1.2限 サロンワーク座学 ①ジェルネイル製品について ②衛生管理チェック表 ③接客8大用語 ④接客用語 ⑤カルテ&同意書 ⑥ジェルネイルを安全に楽しむために ⑦口述確認 ⑧売上表1. 2 目標:サロンワークのルーティンを把握する 3限 デッサン イラスト(ノートに鉛筆でデッサン)目・唇・顔の輪郭の練習	
10	ミックスメディア 目標:様々な技法を取り入れ、奥行きのある繊細且つ大胆なアートを作成することができる	
11	ミックスメディア 目標:様々な技法を取り入れ、奥行きのある繊細且つ大胆なアートを作成することができる	
12	ミックスメディア 目標:様々な技法を取り入れ、奥行きのある繊細且つ大胆なアートを作成することができる	
13	ミックスメディア 目標:様々な技法を取り入れ、奥行きのある繊細且つ大胆なアートを作成することができる	
14	ミックスメディア 目標:様々な技法を取り入れ、奥行きのある繊細且つ大胆なアートを作成することができる	
15	期末試験:接客用語(筆記) (残り時間:ジェルスカ練習)	期末試験 60点
【特記事項】 4月15日(土)ネイリスト技能検定試験1級試験日【Dパターン】 4月16日(日)ネイリスト技能検定試験2級試験日 7月15日(土)ネイリスト技能検定試験2級試験日 6月10or11日(土)(日)ジェルネイル検定初級・中級試験日 10月14日(土)ネイリスト技能検定試験1級試験日【Bパターン】 仮10月21日(土)ジェルネイル検定中級・上級試験日		【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名 (英)	SNSプロモーション演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	菊地 慶
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	45(3)	開講区分	前期
学科・コース	トータルビューティー科・ネイル専攻					曜日・時間	
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ネイルサロンで発信を目的に、SNS投稿を学ぶ							
【授業を通じての到達目標】 SNSで自作のネイルを発信し、フォロワー増加の手法を理解する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ネイルチップの作成 :グラデーション						
2	ネイルチップの作成 :ジェル					5点	
3	ネイルチップの作成:3D						
4	撮影方法レク						
5	撮影方法レクⅡ					5点	
6	撮影・投稿について						
7	撮影・投稿について					20点	
8	ネイルチップの作成②						
9	ネイルチップの作成③					5点	
10	ネイルサロンボンボン拡散方法の検討						
11	拡散の実施						
12	拡散の実施②						
13	ふりかえり					5点	
14	ネイルサロン告知						
15	定期試験					60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ネイル総合演習 & サロン演習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	内田由香 戸川智尋
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	火曜日 1.2 限
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
この学科では ジェルネイル技能検定試験中級ではサロンワークに必要な専門的技術及び知識を修得し、作業を時間内に収める技術を身に付ける ジェルネイル技能検定試験上級ではサロンワークに必要なジェルネイルのスペシャリストとして必要とされる総合的技術及び知識を習得し身に付ける サロンワークで実践できる技術、知識、サロンルーティン、ホスピタリティを身に付ける 内田： ネイル専門学校でネイルの専門知識を学びサロンワーク経て個人経営のサロンの立ち上げから講師業を経て活かし教育に関わらせて頂いています。 今後皆様には検定試験合格に向かいネイル技術に必要な基礎的知識と専門技術を修得していただき試験合格に向けて試験官経験を活かし参考になるような知識と技術をお伝えします。 戸川： ネイル教育に20年以上携わってきました。 現在はネイル専門学校でも講師をしております。 講師経験を活かし個々の癖を見抜きわかりやすくお伝えします。 日本ネイリスト協会常任本部認定講師、J N E C ネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験を活かし、合格へ繋がる検定試験の専門知識と専門技術をお伝えします。 ※日本ネイリスト協会 常任本部認定講師、本部認定講師、J N E C ネイリスト技能検定試験管、JNAジェルネイル検定試験管経験者、JNA衛生管理士動員、JNAフットケア理論検定試験指導員が実施							
【授業を通じての到達目標】							
サロンワークに必要なスピーディーな施術を修得する ジェルネイル技能検定試験中級ではサロンワークに必要な専門的技術及び知識を修得し、作業を時間内に収める技術を身に付ける ジェルネイル技能検定試験上級ではサロンワークに必要なジェルネイルのスペシャリストとして必要とされる総合的技術及び知識を習得し身に付ける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
J N A テクニカルシステムジェルネイル J N A テクニカルシステムアドバンス							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	休校→3/23分振替						
2	ジェル検定中級① イクステンション ジェルネイル技能検定試験中級 検定対策 要項説明・過去問題配布 ジェルイクステンション練習 目標：ジェルネイル技能検定試験中級の内容を把握する ジェルネイル技能検定試験中級の第二課題である ジェルイクステンションのアプリケーション手順、ブラシワーク、仕上がりの形を覚え						
3	1.2限 3D (リボン ペアー) 目標：アクリルの3Dのブラシワーク、作成方法、バランスを覚える 3.4限 ジェル検定中級① ジェルイクステンション ジェルネイル技能検定試験中級 目標：ルネイル技能検定試験中級の第二課題である ジェルイクステンションのアプリケーション手順、ブラシワーク、仕上がりの形を覚え						
4	ジェル中級③ ジェルネイル技能検定試験中級 練習 トレーニングハンド ◆右手中指ジェルイクステンション ◆右手4本ジェルグラデーション ◆左手ジェルフレンチフレンチカラーリング 目標：ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている						

5	ジェル中級④ ジェルネイル技能検定試験中級 練習 トレーニングハンド ◆右手中指ジェルイクステンション ◆右手4本ジェルグラデーション ◆左手ジェルフレンチフレンチカラーリング 目標：ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている	
6	ジェル中級⑤ ジェルネイル技能検定試験中級 練習 トレーニングハンド ◆右手中指ジェルイクステンション ◆右手4本ジェルグラデーション ◆左手ジェルフレンチフレンチカラーリング 目標：ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている	
7	ジェル中級⑥ ジェルネイル技能検定試験中級 練習 トレーニングハンド ◆右手中指ジェルイクステンション ◆右手4本ジェルグラデーション ◆左手ジェルフレンチフレンチカラーリング 目標：ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている	
8	ジェル中級⑧ ◆右手中指ジェルイクステンション ◆右手4本ジェルグラデーション ◆左手ジェルフレンチフレンチカラーリング 目標：ピンクグラデーションは2/3の幅で濃色、中間色、薄色がグラデーションになっている フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける イクステンションはハイポイントが真ん中にあり、厚みが均等でラウンドになっている 手順を覚え、施術に何分掛かるか把握する	中間テスト20点
9	フット①角質(接客用語) 角質除去&トリートメント 用具の消毒 【到達目標】 手順を覚え実践できている ペディキュアファイルの使用方法を理解し実践できている トリートメントの手技を覚える 消毒方法を理解し、実践できている	

10	フット②ポリッシュ赤（接客用語） ケア カラー（赤） ◆ケア（20分） ◆ワンカラー20分 【到達目標】 接客用語を使用して施術ができる 時間内に収めることができる	
11	ジェル検定上級 練習 トレーニングハンド ◆ジェルクリアスカルプチュア 右手人差指・中指 目標：ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる	
12	ジェル検定上級 練習 トレーニングハンド ◆ジェルチップオーバーレイ&グラデーションフラワー 右手薬指 目標：ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる	
13	ジェル検定上級 練習 トレーニングハンド ◆ジェルチップオーバーレイ 左手中指 ◆ジェルチップオーバーレイ&フレンチルック 左手薬指 目標：ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる	小テスト20点
14	ジェル検定上級 練習 トレーニングハンド ◆ジェルチップオーバーレイ 左手中指 ◆ジェルチップオーバーレイ&フレンチルック 左手薬指 ◆ジェルチップオーバーレイ&グラデーションフラワー 右手薬指 ◆ジェルクリアスカルプチュア 右手人差指・中指 目標：ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける ブラシワークを模倣し、グラデーションフラワーを奥行きがあり繊細に描ける	
15	ジェル検定上級 定期試験 トレーニングハンド ◆ジェルチップオーバーレイ 左手中指 ◆ジェルチップオーバーレイ&フレンチルック 左手薬指 ◆ジェルチップオーバーレイ&グラデーションフラワー 右手薬指 ◆ジェルクリアスカルプチュア 右手人差指・中指 目標：ブラシワークを模倣し、規定の形に形成することができる ファイリングを少なくできるようアプリケーションができる フレンチはスマイルラインを左右対称にトップエンドが尖り、鮮明に描ける ブラシワークを模倣し、グラデーションフラワーを奥行きがあり繊細に描ける	定期試験 60点
【特記事項】 4月15日(土)ネイリスト技能検定試験1級試験日【Dパターン】 4月16日(日)ネイリスト技能検定試験2級試験日 7月15日(土)ネイリスト技能検定試験2級試験日 6月10or11日(土)(日)ジェルネイル検定初級・中級試験日 10月14日(土)ネイリスト技能検定試験1級試験日【Bパターン】 仮10月21日(土)ジェルネイル検定中級・上級試験日		【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A 評価（90～100点）/ B 評価（80～89点）/ C 評価（70～79点） D 評価（60～69点） E 評価（出席不良・評価資格喪失）/ F 評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名 (英)	表参道プログラム※集中授業	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	中村 石渡 黒谷
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイク・ネイル・エステ・ファッションそれぞれの業界の方に授業を受け、専攻就職に向けての思いを高める							
【授業を通じての到達目標】							
4業種の仕事のやりがいなどが理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	オリエンテーション 企業調べ・企業理解 グループワークによる企業シェア						
2							
3							
4						40点	
5	企業授業実施 (メイク・ネイル・エステ・ファッション) 振り返り・グループシェア						
6							
7							
8						60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) / D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	エステティック理論Ⅱ	必修 選択		年次	2	担当教員	内藤麻代
		授業 形態		総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
学科・コース						曜日・時間	月曜日・2 限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
AEA及びAJESTHE認定講師の資格を持ち、筆記試験に合格できるポイントを指導していきます。筆記問題集の内容を理解できるよう解説していきます。目的：筆記試験に合格できる必要な知識を学ぶ 概要：理論を項目ごとに解説し不足している知識を強化していく。							
【授業を通じての到達目標】							
A E A 上級認定エステティシャン筆記試験の合格							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AEA問題集、AEA教科書							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	AEA筆記試験について、 1－1 エステティック概論、1－2 東洋西洋セラピー						
2	2 皮膚科学（1～8 1）					小テスト 4 点	
3	2 皮膚科学（8 2～1 4 9）						
4	3－1 解剖生理学（1～6 9）					小テスト 4 点	
5	3－1 解剖生理学（7 0～1 2 9）						
6	3－2 心身生理学						
7	中間テスト 4－1 ボディ実技理論					中間テスト 2 0 点	
8	4－2 運動生理学、5－1 フェイシャル実技理論						
9	5－2 化粧品学					小テスト 4 点	
10	6 栄養学						
11	7－1 エステティックカウンセリング、7－2 エステティック電気学機器類					小テスト 4 点	
12	8－1 サロンマネージメント、8－2 エステティック関連法規						
13	9－1 サロンでの救急法、					小テスト 4 点	
14	1 0 美容脱毛額、復習						
15	定期試験					定期試験 6 0 点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価			
				A 評価（90～100点）/ B 評価（80～89点）/ C 評価（70～79点）			
				D 評価（60～69点）			
				E 評価（出席不良・評価資格喪失）/ F 評価（0～59点・不合格）			

科目名	フェイシャル演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小池・名尾
学科・コース	トータルビューティー科エステ分野	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日1・2限
【学習の目的】 （※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 小池→大手エステにてエステティシャンとして2年勤務・美容室エステ部門をエステティシャンとして8年担当 名尾→大手エステサロンにてエステティシャンとして4年勤務・リラクゼーションサロンにてセラピストとして2年勤務・エステサロンを2店舗(3年)経営 日本エステティック業協会・日本エステティック協会の実技試験に合格するための技術・知識を身につける							
【授業を通じての到達目標】							
モデルの肌質・肌の状態が理解でき、悩みの原因などを分析することができる 技試験に合格できるスキルを身につける							実
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
新エステティック学 実技編Ⅰ AEAテキスト(フェイシャル実技理論) 実技準備物一式				コンサルテーションシート作成 年時に学んだ理論を復習する			
1	オリエンテーション(AEA上級認定エステティシャン実技試験概要確認) イシャルマッサージ手技確認					フェ	
2	AEA実技試験対策 マッサージ技術練習 ンサルテーションシート作成説明					コ	2点
3	AEA実技試験対策 マッサージ技術練習 ンサルテーションシート作成説明					コ	2点
4	AEA実技試験対策 マッサージ技術練習 バック塗布練習						
5	クレンジング～コンサルテーション～マッサージ～バック～整肌の一連の流れを時間内にできる						2点
6	クレンジング～コンサルテーション～マッサージ～バック～整肌の一連の流れを時間内にできる						
7	【中間試験】 クレンジング～コンサルテーション～マッサージ～バック～整肌の一連の流れを時間内にできる						20点
8	アジェステ上級エステティシャン実技試験対策 ディーブクレンジング(粒子あり) コンサルテーション技術の向上						2点
9	アジェステ上級エステティシャン実技試験対策 ディーブクレンジング(粒子なし) コンサルテーション技術の向上						
10	アジェステ上級エステティシャン実技試験対策 ディーブクレンジング(酵素・スチーマー) コンサルテーション技術の向上						2点
11	アジェステ上級エステティシャン 実技ディーブクレンジング(ブラシ) コンサルテーション技術の向上						
12	アジェステ上級エステティシャン実技 ディーブクレンジング(吸引) 全体的な技術力の向上						2点
13	アジェステ上級エステティシャン実技 ディーブクレンジング(デイスインクレーション) 全体的な技術力の向上						
14	アジェステ上級エステティシャン実技対策 試験の流れを時間内に行うことができる						
15	定期試験 クレンジング～コンサルテーション～ディーブクレンジング～マッサージ～バック～仕上げ						60点
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	ボディ演習Ⅱ	必修選択	必須	年次	2	担当教員	佐野みゆき・福岡佐智代
学科・コース	トータルビューティ科エステ専攻	授業形態	実技	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
AJESTHE上級認定エステティシヤンの認定指導講師の資格を持ち、登録試験管としても資格試験に携わっている講師が担当します。実技試験に合格する為に必要な専門知識やサロン現場で使える実践を交えた内容でお伝えしていきます。 目的：AEA上級認定エステティシヤン、AJESTHE上級認定エステティシヤン実技試験に合格できる為に必要な知識を学ぶ。							
【授業を通じての到達目標】							
AEA上級認定エステティシヤン、AJESTHE上級認定エステティシヤン実技試験合格							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
新エステティック学(実技編)							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	AEA実技試験の内容確認・全身マッサージ復習						
2	ボディ機器確認・復習(サクション・パイプレーション)機器を正しく扱う					小テスト 4点	
3	ボディ機器確認・復習(サクション・パイプレーション)機器を正しく扱う						
4	ボディ機器確認・復習(EMS)機器を正しく扱う					小テスト 4点	
5	ボディ機器確認・復習(EMS)正しい筋肉位置にパッティングができる						
6	ボディ機器確認・復習(EMS)禁忌事項・注意点の把握						
7	中間試験(ボディ機器EMS)					中間試験 20点	
8	採寸・ボディチェックについて						
9	体型・お悩みに沿った機器選び・マッサージ					小テスト 4点	
10	体型・お悩みに沿った機器選び・マッサージ						
11	体型・お悩みに沿った機器選び・マッサージ					小テスト 4点	
12	AEA試験内容(正しい姿勢・時間管理・口頭試問)						
13	AEA試験内容(正しい姿勢・時間管理・口頭試問)					小テスト 4点	
14	AEA試験内容(正しい姿勢・時間管理・口頭試問)						
15	定期試験(AEA実技試験内容)					定期試験 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価			
				A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点)			
				E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			

科目名 (英)	資格対策実技	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	内藤/福岡
学科・コース		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60(4)	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
AEA及びAJESTHE認定講師資格を持ち、登録試験官として専門学校、また、一般受験の資格試験に携わっている講師が担当します。AEA上級認定エステティシャン、AJESTHE上級認定エステティシャンの実技試験のワックス技術科目、その他コンサルテーションにおける、知識やアドバイスを強化しを合格に導いていきます。目的:資格試験合格のためのポイントを学ぶ 概要:各試験項目を時間内に対応でき、また各授業内で不足している知識や技術を見直していく。							
【授業を通じての到達目標】							
AJESTHE上級認定エステティシャンWAX脱毛実技試験合格、AEA上級認定エステティシャン及びAJESTHE上級認定エステティシャンフェイシャル・ボディ実技試験合格							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AEA教科書・AJESTHE教科書							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	ワックス脱毛について (理論・準備物)						
2	ワックス脱毛(理論・実践)					小テスト 4点	
3	ワックス脱毛(理論・実践)						
4	ワックス脱毛					小テスト 4点	
5	ワックス脱毛						
6	ワックス脱毛						
7	中間テスト ワックス脱毛					中間テスト 20点	
8	実技試験対策 コンサルテーション～実技(ボディ・フェイシャル)						
9	実技試験対策 コンサルテーション～実技(ボディ・フェイシャル)					小テスト 4点	
10	実技試験対策 コンサルテーション～実技(ボディ・フェイシャル)						
11	実技試験対策 コンサルテーション～実技(ボディ・フェイシャル)					小テスト 4点	
12	実技試験対策 コンサルテーション～実技(ボディ・フェイシャル)						
13	実技試験対策 コンサルテーション～実技(ボディ・フェイシャル)					小テスト 4点	
14	実技試験対策 コンサルテーション～実技(ボディ・フェイシャル)						
15	定期試験					定期試験 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	サロン演習Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小野ありさ 福岡佐智代
学科・コース	トータルビューティ科 エステ専攻	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 【木】1限2限
サロンワークを通じてエステティシャンとしての職業を体験し、働くイメージを持つことができるようになる サロン開設のシミュレーションを通じてメニューの考案、金額設定、顧客のニーズを知る 顧客管理の必要性を学び、カルテ管理やカウンセリングの実践ができるようになる (※エステティシャンであり、店長として店舗運営を経験した講師、エステティック講師エステティシャンとして長年経験し現在数多くのお客様方のケアをしている講師による授業である)							
【授業を通じての到達目標】							
サロンワークを通じて、サロン運営の仕組みを知り、エステティシャンの仕事の内容を理解し、実践することができる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
AEAサロンマネジメント、その他毎授業時に配布				授業によって自宅課題あり			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	エステティックサロンの業務を学び、エステティシャンという職業を知る						
2	カウンセリングの流れ、種類を学ぶ					小テスト5点	
3	様々なトリートメントを学ぶ						
4	様々なトリートメントを学ぶ					小テスト5点	
5	様々なトリートメントを学ぶ						
6	様々なトリートメントを学ぶ						
7	様々なトリートメントを学ぶ					中間試験20点	
8	サロンオープンへ向けて準備						
9	サロンオープンへ向けて準備					小テスト5点	
10	サロンオープンへ向けて準備						
11	プレオープン					小テスト5点	
12	プレオープンの反省・振り返り						
13	メニュー練習(相モデル)					小テスト5点	
14	サロンオープン						
15	サロン営業					定期試験 60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	表参道プログラム※集中授業	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	中村 石渡 黒谷
学科・コース	トータルビューティ科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイク・ネイル・エステ・ファッションそれぞれの業界の方に授業を受け、専攻就職に向けての思いを高める							
【授業を通じての到達目標】							
4業種の仕事のやりがいなどが理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	オリエンテーション 企業調べ・企業理解 グループワークによる企業シェア						
2							
3							
4						40点	
5	企業授業実施 (メイク・ネイル・エステ・ファッション) 振り返り・グループシェア						
6							
7							
8						60点	
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) / D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッションメイキング	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	若井 りさ
学科・コース	FA	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	水曜日・3～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
スタイリストとしてのキャリアは40年以上となる講師が、国内外の企業広告、各種ファッション雑誌、雑貨・インテリア、流通宣伝のスタイリングを経て、アーティストのライブ衣装製作とスタイリングの他、企業のマーチャンダイズデザイン、カタログ撮影プロデュース、ノベルティデザイン、広告プロデュース、ディレクション等、多岐にわたる活動の中で得た、必要な基本技法、シルエット構成の仕組み、バックヤード作業、撮影時に於ける調整などの技術と繊維の知識、着せつけの基本技術などを 体得することにより、ファッション衣料に関わる急な対応ができるように、その基本となる作業工程を自ら組み立て考察できるようにする。							
【授業を通じての到達目標】							
洋裁・アイロン・ミシンなどの基本技法を習得し撮影時や接客時に必要な知識と技法を身につける。技法の組み合わせによって作品を仕上げ提出する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
使用素材などは都度確認連絡とします。							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	4/12：手縫いの基本①：なみ縫い・まつり縫い・返し縫い・ <u>アイロン</u> <u>シーチング</u> 生地、縫い針、糸、ハサミ						
2	4/19：手縫いの基本②： <u>シーチング</u> 生地、 <u>裁縫道具一式</u> ・ <u>アイロン</u>					4点	
3	4/26：スカーフ生地のふちとアイロン <u>サテン</u> 生地・ <u>裁縫道具一式</u>						
4	5/10：スカーフのふち・アイロン・衣類の裾上げ、私物の直し→ <u>アイロン</u>					4点	
5	5/17：小さな熊の縫いぐるみ①：なみ縫い・返し縫い： <u>アイロン</u> <u>シーチング</u> 生地・ <u>中綿</u>						
6	5/24：小さな熊の縫いぐるみ②：なみ縫い・返しぬい： <u>アイロン</u>					4点	
7	5/31：中間試験：手縫いの基本、クマのぬいぐるみ、スカーフ生地： <u>アイロン</u>					中間テスト・20点満点	
8	6/7：ギャザースカートの生地買い出し・ミシンの使い方 <u>コットン</u> <u>プリント</u> 生地買い出し						
9	6/21：ギャザースカート製作①					2点	
10	6/28：ギャザースカート製作②						
11	7/5：ギャザースカート仕上げ ③					4点	
12	7/12：ペーパードレス①					2点	
13	7/19：ペーパードレス②						
14	8/30：ペーパードレス③						
15	9/6：定期試験：ギャザースカート・ペーパードレス					前期定期試験・60点満点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	販売ロールプレイ II	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	緑川 有香
学科・コース	TB科ファッションコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	前期 毎週木曜日 3限4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
販売員から販売営業マネジメントの経験を経た講師からスタイリング方法やお客様へのお声がけ、購買心理の変化などの基礎知識を学べる。 また、プレイヤーとして実際にロールプレイコンテスト受賞実績のある講師から接客のノウハウだけでなく、お客様のリアルな声をもとに必要な知識や心構えを得ることが出来る。							
【授業を通じての到達目標】							
・お客様の心理を理解し、心理状況や要望に合わせたスタイリングを提案できるようになる。 ・販売員に求められる実務的な業務スキルを身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・授業内容により資料を配布 ・ロールプレイング大会DVD				・映像鑑賞 ・ショップリサーチ ・実店舗での接客体験			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【販売について】 ⇒販売・小売りについてそれぞれの意見や考えのヒアリングを行う。販売員に必要なスキルや知識についての知識を身につける。						
2	【専門用語】 ⇒アパレル業界でよく使用される専門用語についての知識を深め、日常的に使えるようになる。						
3	【商品知識】 ⇒商品知識の強化、身につけ方を学び、自己研鑽ができるようになる。						
4	【メリットピックアップ】 ⇒1アイテムに対して様々な角度からメリットを見つけられるようになる。提案材料をより多く見出す。					10	
5	【比較検討】 ⇒類似商品を用いて、それぞれの良さについてディベートを行う。それぞれの良さについて理解を深める。						
6	【商品提案】 ⇒1アイテムに対して制限時間内ひたすらに商品メリットや提案のアピールを行う。提案力やトークスキルを上げる。						
7	【中間テスト】 ⇒実技演習：ロールプレイ演習					20	
8	【商品説明】 ⇒商品の見た目ではなく、実際に使用・着用しないとわからないような使用感を伝えるための知識を得る。						
9	【傾聴】 ⇒接客において重要度の高い傾聴について、理解したうえで会話ができるようにする。						
10	【話し方】 ⇒お客様に分かりやすい、伝わりやすい提案が出来るようになるために話し方のトレーニングを行い、より高いスキルを身につける。						
11	【クロージング】 ⇒商品決定にかかるクロージング、レジでの所作・接客行動を学び、決定率向上と再来店意欲の増進ができるようになる。					10	
12	【ヒアリング】 ⇒お客様の入店から、ご提案に繋げるまでのニーズヒアリングが確実にできる状態を目指す。						
13	【提案】 ⇒お客様へのご提案から、お会計後のお見送りまでを確実にできるようにする。						
14	【ロールプレイ総合】 ⇒接客の改善点などを考慮し、ロールプレイを実践、振り返りまでを行う。						
15	【定期試験】 ⇒実技試験：ロールプレイ演習					60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッションビジネスⅡ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	前嶋 直哉
学科・コース	TB科ファッションコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ファッション業界の第一線で活躍するための店舗運営に必要な知識(MD、VMD、マーケティング、リサーチなど)の理解をし、実践できるようになる							
※講師:エストネーションカンパニーにて管理職として就業後、東京コレクションブランドにてアドバイザー、新規事業コンサルタント、ブランドマネージメントを行う							
【授業を通じての到達目標】							
ファッション業界の第一線で働くための、店舗運営や企業就業に必要な基本的な知識(MD、VMD、マーケティング、リサーチ)を理解し習得する							

科目名 (英)	セルフブランディング演習Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	矢澤 勇
	学科・コース	授業形態	実習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分 曜日・時間	月曜日 1限2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
キッズモデルからモデルキャリアスタート、後に国内海外ブランドで働いてきた2013年からスタイリストとして活動し、雑誌やCMに舞台など衣装を幅広く担当。またモデル育成やウォーキング講師なども担当する講師が担当。							
【授業を通じての到達目標】							
セルフのトータルコーディネートにSNSの発信や企画また、ファッションアドバイザーやスタイリストとして撮影現場での動きにスタイリングスキルを身に付ける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
授業内でデータや資料を配布 参考書							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	オリエンテーションと一年時の復習						
2	パーソナルコーディネート①						
3	パーソナルコーディネート②						
4	Instagramリール制作						
5	Instagramリール制作②						
6	中間テストに向けて振り返り					10点	
7	中間テスト					20点	
8	ストリートファッションリサーチ①						
9	ストリートファッションリサーチ②						
10	コレクションファッションスタイリング①						
11	コレクションファッションスタイリング②						
12	オリジナルデザインスタイリング①					必修	
13	オリジナルスタイリング②						
14	定期試験に向けて振り返り					10点	
15	定期試験					60点	
【特記事項】						【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

科目名 (英)	トレンドリサーチ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	緑川 有香
学科・コース	TB科ファッションコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 毎週火曜日 4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
販売員から販売営業マネジメントの経験を経た講師からファッション販売のプロとして、ファッションの歴史から時代のトレンドについての基礎知識を学ぶことが出来る。 過去のトレンドを知り、未来のトレンドやファッションについて考える想像力(創造力)を養う。							
【授業を通じての到達目標】							
・時代毎のトレンドをリサーチし、時代背景と共にファッションの変化を学び、知識を得ることが出来る。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・授業内容により資料を配布				・ショッピング ・実店舗での接客体験			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【年間計画】 ⇒実際に売り場で行われることや必要なことなどを予測したリアル店舗での年間スケジュールを考える。計画書を基に、シミュレーションを行うことで業界の年間の流れを把握する。						
2	【校外リサーチ】 ⇒売り場計画に基づき、現状の売り場がどのように表現されているか予測し現状をリサーチ・把握する。リサーチした内容についてのまとめと発表・共有を行う。					10	
3	【認知・拡散について】 ⇒より多くの人にお店やブランドを知ってもらうために必要なこと、出来ることとは何かを考える。						
4	【SNSの活用】 ⇒社会人として見る側・見られる側の気持ちに沿ったSNSの正しい活用法・運営法について学ぶ。						
5	【有効的なSNS活用】 ⇒ブランドリサーチと並行して写真の撮り方や画角、投稿の頻度など有効的な活用について学び、理解を深める。						
6	【SNSリサーチ】 ⇒企業やブランドのHP・SNSをチェックし、気になるポイントをチェックする。 消費者として感じることを共有し改善案を考えてみる。						
7	【中間テスト】					20	
8	【トレンドリサーチ】 ⇒次シーズンのトレンドリサーチを行い、全体での共有を行う。						
9	【ショッピングリサーチ】 ⇒販売員・売り場づくり・施策などショップ軸でのリサーチを行う。						
10	【商品リサーチ】 ⇒取り扱い商品・ボリューム・アイテム構成など商品軸でのリサーチを行う。						
11	【オンラインリサーチ】 ⇒実店舗での販売以外にどのような手法で企業が販売を行っているのかリサーチを行う。						
12	【校外リサーチ】 ⇒SALE～立ち上げの間、売り場はどのように表現されているかを予測。 また、実店舗にて接客体験をし、スタッフより次シーズンのトレンド情報収集を行う。					10	
13	【企業リサーチ】 ⇒興味のある企業のみに関わらず、専攻就職に向けて広い視野を持ってリサーチを行う。						
14	【定期試験準備】						
15	【定期試験】					60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッションIT演習Ⅱ	必修 選択		年次	2年次	担当教員	TFL (Avail 山下)
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
学科・コース		ファッションビューティー科・ファッションコース				曜日・時間	月曜日 1・2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
東京ファッションテクノロジーラボ(TFL)は、2017年の設立以来ファッションとテクノロジー・CG・映像など複数領域の知見を組み合わせた教育を展開し、さらにテクノロジーの産業活用を研究するAI・バーチャルファッション・デジタルツインなどの学内の研究会で得られた新技術やノウハウを、教育カリキュラムとして人材育成に還元しています。 このTFLの教育ノウハウを活用し、今後増大するDX(デジタルトランスフォーメーション)化推進のニーズに対応した人材を育成していきます。 目的:ファッション3Dモデリングスキルを習得し、業界の川上から川下まで、様々な場面で人材ニーズの多いDX対応人材を育成する。 概要:ファッション3DCADソフト「Browzwear」を活用し、2Dパターン(型紙)データ・テクスチャ(生地表面質感/生地物性)データから、ファッションアイテムのCG作成、3DCGでのスタイリング、ECサイトのささげ代替可能な精緻なファッション3DCGを作成するスキルを習得し、学生のキャリア形成の可能性を広げ、業界の発展に寄							
【授業を通じての到達目標】							
Browzwearの基本操作習得と軽衣料(SS商材)の形状仕上げ オリジナルデザインの3DCGを出力、プレゼンテーションする							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	Brawzwearの基本操作/Tシャツ1:ツール・マウス操作説明/アバター編集/縫い合わせ指示/3D空間での						
2	Tシャツ2:パターン読み込み/被服構造/パターン編集/デザイン修正/グラフィック配置/小テスト					5点	
3	スカート1:スカートの展開/タイトスカート原型/フレアスカート/ギャザースカート/ゴム設定						
4	スカート2:プリーツスカート/プリーツ折り曲げ設定/パターン編集/デザイン修正/小テスト					5点	
5	シャツ1:シャツ・ブラウスのパターン/芯/折り曲げ設定(衿)/前立て/カフス・剣ボロ/タック指示						
6	シャツ2:切り替え・内部線編集/ボタン設定/ファスナー設定/ステッチ指示/レンダリング手順/小テスト					5点	
7	コーディネート作成/着せ付けテクニック・各種ツールの使い方/アバターポージング						
8	中間テスト:用語と基本操作/ファッション3DCGアワード制作1:デザイン検討/生地検討					20点	
9	ファッション3DCGアワード制作2:3Dモデリング個別制作/生地決め/デザイン・パターン打ち合わせ						
10	ファッション3DCGアワード制作3:3Dモデリング個別制作/パターン作成						
11	ファッション3DCGアワード制作4:3Dモデリング個別制作/生地(テクスチャ・物性)データ取得						
12	ファッション3DCGアワード制作5:3Dモデリング個別制作/中間チェック					5点	
13	ファッション3DCGアワード制作6:個別制作/ブラッシュアップ						
14	ファッション3DCGアワード制作7:個別制作/ブラッシュアップ/レンダリング設定						
15	前期末試験:3DCG作品評価/ファッション3DCGアワード審査会					60点	
【特記事項】				【評価について】			
前期修了時、後期修了時の年2回、外部企業(豊島株式会社)との連携により、ファッション3DCGアワード実施予定 産学案件として学生作品の商品化まで視野に入れた計画を調整中				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	検定対策Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	緑川 有香
学科・コース	TB科ファッションコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 毎週火曜日 3限
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） 販売員から販売営業マネジメントの経験を経た講師から、ファッション販売のプロとして、販売の基礎知識やマナーなどを学ぶことが出来る。 ここでは、テキストに沿ってファッション業界において必要な基礎知識や検定合格に向けての知識を身につけ、合格を目指す。							
【授業を通じての到達目標】							
・ファッション販売能力検定試験合格							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
テキスト【ファッション販売】【ファッション販売能力検定試験問題集】を使用							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【ファッション販売知識Ⅰ】 ⇒ファッションとは何か、産業や小売りの流れを知り、知識を深める。						
2	【ファッション販売知識Ⅱ】 ⇒ファッションとサービスの重要性。お客様とスタッフの違い、必要不可欠なものとは何かを知る。					5	
3	【ファッション・マーケティング知識Ⅰ】 ⇒マーケティング・リテールについて学び、理解を深める。						
4	【ファッション・マーケティング知識Ⅱ】 ⇒売り場での情報収集や、ファッション小売業の年間計画についての知識を深める。					5	
5	【ファッション販売業務Ⅰ】 ⇒販売スタッフの仕事についての基礎知識を学ぶ。						
6	【ファッション販売業務Ⅱ】 ⇒販売スタッフの事務、商品管理についての基礎知識を身につける。						
7	【中間テスト】 ⇒試験内容：検定内容に基づいた筆記試験。					20	
8	【ファッション技術Ⅰ】 ⇒販売スタッフの基本マナー、サービスについてを学び、お客様の購買心理についての理解を深める。						
9	【ファッション技術Ⅱ】 ⇒接客の基本動作とセールステクニックの基礎に基づいたお客様への接し方を学ぶ。						
10	【店舗演出・VP展開】 ⇒売り場の環境づくりや演出、陳列について学ぶ。					5	
11	【店舗演出・VP展開】 ⇒マネキンの着せ方・見せ方のポイントを知る。ラッピングの基礎知識を身につける。						
12	【ファッション商品知識Ⅰ】 ⇒アパレルの分類と婦人服・紳士服・ベビー服の基礎知識を身につける。						
13	【ファッション商品知識Ⅱ】 ⇒アイテム・素材の知識を深める。						
14	【ファッション商品知識Ⅲ】 ⇒色彩・サイズ・品質表示についての知識を身につける。					5	
15	【期末テスト】 ⇒試験内容：検定内容に基づいた筆記試験。					60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			